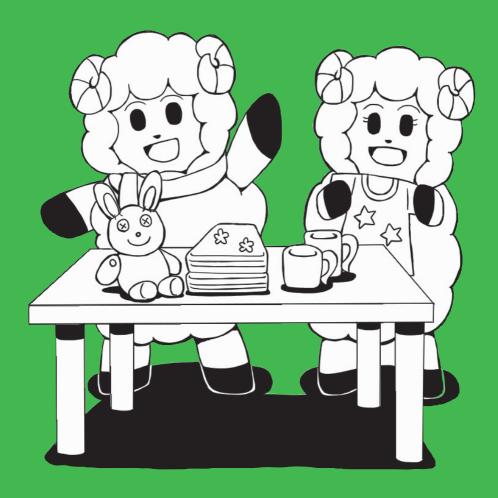
Seinan Gakuin University Volunteer Guidebook



炒西南学院大学 ボランティアセンター

# 目 次

# はじめに

小フンテイアセンター長矢拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
ボランティアセンター (通称:ボラセン)とは?・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	.2
ボランティアって、なんだろう?・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	. 3
ボランティア活動について(相談~活動までの流れ)・・・・・・・・	. 4
ボランティア登録について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	.5
ボランティア活動の心構え・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	٠5
ボランティア活動	
<ul><li>団ちょこボラ(ちょこっとボランティア)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	6
②東日本大震災ボランティア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
③熊本地震ボランティア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
<ul><li>国九州北部豪雨ボランティア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	10
国広島ボランティア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	. 11
回福岡で活動する被災地支援ボランティア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
図海外ボランティア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	. 15
B 学生サポーター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	.17
回せエッかーラ 回他機関連携・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
回じぬぬ 建物	
回等外ボランティア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	21
	24
学生グループ活動(サークル紹介)	
学生スタッフOPENの活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
(1)OPEN · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	.28
(2)いと・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
(3)のびっこの会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	.29
(4)西南FIWC 九州······	.29
(5)学生YM(W)CA····································	
(6)ワークキャンプ部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
(7)Think&Act	
(8)西南ラブ・グリーン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
(9)SIEC (西南国際教育協力隊)·····	
(10)手話サークル とびうめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	.32
(11)Pao · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	.33
学生ボランティア団体助成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	.33
その他	
印刷機・紙折機・裁断機の使用(無料)/活動室の利用/ボランティア活動保険について・・	
社会福祉協議会(社協)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
2019 年度ボランティアセンター活動記録・・・・・・・・・・・・・・	.36



### ボランティアセンター長 石森 久広

西南学院大学にご入学おめでとうございます。皆様のご入学を心からお祝いし、歓迎いたします。これから始まる学生生活、友との出会い、師との出会い、学問との出会いの中で、豊かな時間を過ごしてください。

本学では、ボランティア活動を建学の精神である「西南よ、キリストに忠実なれ」の具現化並びに大学の社会貢献の一つと位置づけ、学生・教職員等によるボランティア活動を支援・推進する部署としてキリスト教活動支援課の中にボランティアセンターがあります。ボランティアセンターは、さまざまなボランティアの情報を提供し、皆さんの相談に応じています。お弁当容器やペットボトルキャップ、古本や古切手などを提供する身近なボランティアから、学生サポーターとして地域の小・中学校で活動するボランティアや重症心身障害施設の久山療育園でのボランティアもあります。

本学では、東日本大震災が発生した後から毎年継続して被災地支援活動をしており、昨年度は東北に3チーム12名の学生・教職員を送り出しました。また、2017年に発災した九州北部豪雨では、東北、熊本でのボランティア活動経験を活かし、福岡県や北九州市立大学、NPO法人ANGEL WINGSと協働し、全国の学生ボランティア無料宿泊拠点及び情報共有・情報発信の拠点「うきはベース」を運営しました。全国から約2,200名の学生たちが活動し、本学からも、日帰りを含めて536名の学生・教職員が活動しました。さらに、海外に目を向けると、フィリピンで活動する海外ボランティア・ワークキャンプが2003年度から実施されており、今までに284名の学生・教職員が活動しました。他にもガイドブックに紹介しているボランティア活動のサークルもあり、皆さんの参加を心待ちにしています。学内だけでなく、学外からのボランティア依頼にも対応していて、多くの学生たちが活動しています。

ボランティアは、子ども・高齢者・地域・環境・国際交流など、幅広い分野で展開されています。大学在学中にボランティア活動をすることで、同年齢だけでなく、乳児から高齢者まで、多くの幅広い年齢の方々や仲間と出会い、社会・地域・施設・行政・企業などとの出会いがあり、視野が拡がることでしょう。自分に合う活動を見つけることで、自分自身をみつめる良い機会となり、自分の新たな一面と出会えるかもしれません。

ぜひ、大学入学を機会にボランティア活動を始めてみてください。ボランティアセンターは、皆さんをいつも応援しています。

### ボランティアセンター(通称:ボラセン)とは?

ボランティアセンターは、ボランティア活動を建学の精神の具現化並びに大学の社会貢献の一つと位置付け、学生、教職員等によるボランティア活動を支援・促進することを目的としています。センター内には、職員が常勤していますので、ボランティアをするのが初めての方や迷っている方など、どなたでもお気軽にご相談ください。

【場 所】 ボランティアセンター(キリスト教活動支援課)

1号館2階 エレベーター横

TEL 092-823-3662 FAX 092-823-3335

E-mail: swvoc@seinan-gu.ac.jp

H P: http://www.seinan-gu.ac.jp/volunteer/

Facebook: https://www.facebook.com/seinanvoc/

【開室日】 通常期間 月~金 8:45~17:20

(長期休暇中や行事などで閉室する場合があります)

【休室日】 土曜日、日曜日、国民の祝日、学院創立記念日、クリスマス、

年末年始、その他大学が特に定める日

【サポート】 ボランティア活動に関する相談、情報交換会の開催、 ボランティア情報・関連する講演会やイベント情報の発信、 ボランティアグループとの懇談会

【ボラセンが企画するボランティア】

- ・東日本大震災ボランティア
- ・熊本地震ボランティア
- ・九州北部豪雨ボランティア
- ・緊急災害ボランティア
- ・他機関との連携企画
- ・学内ボランティア
- 【学内外からの主な依頼】
- ・学内の各部署が募集するボランティア
  - ·イベントのお手伝い(障がい者施設·高齢者施設·学内など) ·街頭募金活動
  - ・リサイクル、ゴミ拾い・・地域活性化活動(商店街など)・その他

- 海外ボランティア
- ・学生サポーター
- ・ 久山療育園ボランティア
- ・ちょこっとボランティア
- ・その他

### ボラセンからメッセージ

ボラセンのスタッフは、アドバイスするだけでなく、皆さんと一緒にボランティアや活動について、考えていきたいと思っています。まずは、いつでも気軽にたずねてきてください。皆さんとお話できるのを楽しみに待っています!



### ボランティアって、なんだろう?

高齢者や障がい者、困ってる人の手助け?善意あるお手伝い? どれも大事なことだけど、専門知識もないし、何だかすごいことのようで、想像すればするほど、難しそう・・・

なんて思っている人は多いのではないでしょうか。

それでは、今までにこんな経験はありませんか? バスの中で自分の席の前にお年寄りが・・・ 『席をゆずろうかな、どうしようかなぁ・・』と ソワソワした経験。

荷物を沢山抱えた人がドアの前で困っている・ 『扉を開けてあげよう!』と駆け出した経験。



"ほっとけない""あの人の為に何かしたい・・・"そんな、くすぐったいような、もどかしいような、モヤモヤした感覚。それこそが、ボランティアの種。皆さんの心にそっと芽生える "ボランティアの種"を大事にして、育て、勇気を出して一歩前へ踏み出してみましょう。 "誰かのために"歩みだしたことが、結局は"自分にも何か与えられている"その2つが同時に起こる素敵なことが「ボランティア」なのです。

### ボランティア活動の4 つの原則

#### 自発性·自主性

~「やりたい! !想いと初めの一歩を大切に~

ボランティアは、自分の"やりたい!"想いを形にして始める活動であり、他からの強制や義務で行う活動ではありません。決めるのは自分自身なので、積極的に行動できます。自分の想いを活動として表現するので、人の心に働きかける力をもっています。

### 無償性·無給性·非営利性

~お金では買えない目に見えない心の財産~

ボランティアは、活動を通して、お金では得ることができない達成感や感動、仲間との 共感、新たな出会い、気づきを得ることがで

> きます。個人的な利益や金銭的な報酬 を期待するものではありません。 (ただし、交通費や食費、材料費などの実費弁 には、有償とはみなしません。)

### 先駆性·開拓性·創造性

~アイデアから、より良い地域や社会を創ろう~

ボランティアは、今目の前にある必要なことに、すぐ手を差し伸べ取り組むことができます。今ある仕組みや発想にとらわれず、何が必要とされているのかを考えて、新しく創り出し、新しい仕組みやサービスを生み出すことができる活動です。結果的に先駆的で開拓的な分野や活動を担うことになります。

#### 社会性·公益性·連帯性

~みんなのために、みんなで支え合おう~

ボランティア活動は、一人ひとりの人間を 大切にすると共に、だれもがいきいきと豊かに暮らせる社会を目指しています。社会 にはさまざま課題があり、すべての課題を 自分一人で解決することは難しいです。多 くの人と出会い、つながり、協力しあい、学 び合って、共に課題を解決する活動です。

### ボランティア活動について(相談~活動までの流れ)

# ①ボラセンに行ってみよう!

### (1号館2階エレベーター横)

ほとんどの人が、大学生になって初め てボランティアをしています。ボラセン では、初めての人を対象に講座なども開 催しているので、自分に合う活動や講座 を一緒に探しましょう。





※ボランティア登録をしよう! (5ページ参照)









### ②自分にあうボランティア活動に 参加してみよう!

参加したい活動が見つかったら、各自で団体に申し込みましょう。いよいよ、ボランティア活動の始まりです。申込後は、各自で大学生としての自覚と責任をもって参加し、急に参加できなくなった場合も、必ず自分でお詫びの連絡をしましょう。困ったことが起きたら、ボラセンへ相談してくださいね。



※ボランティア活動保険に加入しよう! (34ページ参照)



### ③ボランティア活動について 報告しよう!

活動が終了したら、ボラセンまで体験 談をお寄せください。皆さんの体験談が、 次にボランティアをする方への情報源と して活用されます。



### ボランティア登録について

ボラセンには、学内外から様々なボランティアの依頼があります。これらの依頼内容は、ポータルにアップしたり、ボラセンの掲示板に掲示しています。なお、ボランティア登録をされた方には、定期的にボランティア情報をMoodle からメール配信しています。ぜひ、次の方法で登録をしてください。

※ボランティア登録は、年間を通して受付をしています。 (登録料・会費などは一切かかりません)

【登録方法】次のいずれかの方法で登録してください。

**◆**OR⊐-ド

※ボラセンのHPからも登録できます。

◆メール(以下の内容を記入のうえ、送信してください。) 〈宛先〉swvoc@seinan-gu.ac.jp 〈件名〉ボランティア登録〈本文〉①在学番号、②氏名



### ボランティア活動の心構え

### 1、無理せず、背伸びせず、楽しく継続

ふだんの暮らしに支障が出る活動は、長続きしません。自分の出来ることだけでなく、出来ないことについても活動先には伝え、自分に合った活動を選びボランティア活動を楽しみましょう。

### 2、最低限のマナーは守る

小さなことでも、活動先との約束は必ず守りましょう。特に時間厳守を意識し、遅刻や欠席の場合は、必ず各自で責任をもって活動先に連絡してください。突然、連絡が途絶えると、活動先は困ります! 最後まで「西南学院大学の学生」である自覚をもって、行動しましょう。

### 3、身だしなみの確認

申込みの際、活動中の服装についても事前に確認し、特に、必要以上のアクセサリーは外して活動しましょう。活動前にもう一度、自分の身だしなみをチェックするよう心がけましょう。

### 4、秘密厳守(個人情報)

活動を通して知り得た個人情報は口外してはいけません。逆に、自分の連絡先も活動先の担当者以外に、みだりに教えてはいけません。また、安易に写真を撮ることは控え、活動先の許可を得てから撮影しましょう。

## 5、お互い気持ちよく、信頼関係を築こう

様々な思いの人たちが、いろいろな役割で関わっています。相手を尊重し、協力しながら、コミュニケーションを深め、信頼関係を築いていきましょう。





### ボランティア活動

### 1 ちょこボラ (ちょこっとボランティア)

今すぐ始められ、身近なところから自分のできることを無理なく楽しくマイペースに お手伝いできる「ちょこボラ」をご紹介します。

#### (1)被災地を応援するボランティア

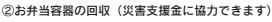
#### ①災害支援金

#### 被災地に災害支援金を送ろう!

本学では、災害支援金を募って被災地へ届けています。 東日本大震災・熊本地震・九州北部豪雨災害などの 被災地支援金として送金ほか ※寄付金枠除の対象外です。

### 【口座】 西日本シティ銀行西新町支店 普通 1569416 「学校法人西南学院義援金口」

※本・支店窓□(ATMを除く)から振り込む場合は、振込手数料は不要です。



お弁当容器を回収し、被災地に災害支援金を届けよう!

お弁当容器 (リリパック)回収による払戻金が被災地へ送る災害支援金になります。お弁当を食べ終わったら、赤い(もしくは黒い)フィルムをはがし、白い本体のみを回収ボックスへ!割れても大丈夫です!

弁当容器1個が10円の災害支援金として募金されます。

※生協、クロスプラザで販売されているお弁当のみ

#### 【回収ボックス設置場所】

1号館:2·3 階エレベーターホール 2号館:学生ホール、2階廊下西南会館ラウンジ、生協食堂1階、図書館1階ライブラリーカフェ、学術研究所1階ロビー、コミュニケーションプラザ1階

### (2)ペットボトルキャップの回収

ペットボトルキャップを回収し、世界の子どもたちにワクチンを届けよう!

飲み終わったペットボトルのキャップは、回収ボックスへ!ペットボトルキャップ約2000個のリサイクル対価が、

一人分のポリオワクチン (約20円)に相当します。

※リサイクル対価は市況によって変わる場合あり。

#### 【回収ボックス設置場所】

1号館:2階入口、4·5階 2号館:学生ホール、3·4階 4号館1階、生協食堂1階・通路、クロスプラザ1階、本館 ほか







### (3)寄付本★プロジェクト

#### 自宅で眠っている不要本を寄付して、奨学基金へつなげよう!

不要となった古本などを寄付し、本学の奨学基金へつなげるプロジェクトです!

#### 【回収ボックス設置場所】

学術研究所、コミュニケーションプラザ各階ロビー、

法科大学院事務室内、1号館2階ボランティアセンター、

2号館1階学生ホール

※業者の回収は、原則、第1火曜日です。

≪対象となるもの≫

専門書~趣味の本までOK·書込みされた本もOK

CD·DVD·ゲームソフト

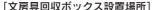
≪対象とならないもの≫

(書 籍)百科事典・同人誌・新聞・個人出版の本・復刻マンガ (CD/DVD)ケースがない・サンプル・規格品番なし

### (4)カンボジア支援(文房具ほか)

#### SIEC(西南国際教育協力隊)の取り組みについて

カンボジア支援プロジェクトは、毎年3月と11月に年2回カンボジアに渡航して教育支援を行っています。日々の活動では寄付(赤白帽子、ノート、筆記用具etc)を募ったり、他大学と共同で会議を行ったりして、渡航が迫ると、運動会や授業の準備を行い渡航に備えています。現地では、都市部にある学校から郊外にある学校まで幅広い地域の学校で運動会や授業を行っています。



ボランティアセンター前:西南会館:5号館心理学実験室前

### (5) その他 (古切手・書き損じハガキ)

#### 使用済み切手、書き損じハガキなどを福祉活動や発展途上国の支援活動に役立てよう!

①古切手(使用済み切手)

封筒やハガキに貼ってある切手を、消印のスタンプ切手周囲1cmを 残して切り取り、回収ボックスへ!

②書き損じハガキ

年賀状や通常ハガキで、ミスプリントしてしまったものなど、 回収ボックスへ!

#### 【回収ボックス設置場所】

ボラセン前の備え付け回収ボックス









### ② 東日本大震災ボランティア

2011 年3 月11 日14 時46 分18 秒に起きた東日本大震災は、東北地方を中心として広域に渡って甚大な被害をもたらしました。現地の状況は変化していますが、今でもさまざまな支援が必要です。本学からも学生や教職員が、ボランティア活動を行っています。

### 9年間 延べ活動者 82チーム 641名

2011 年度 参加者	9 チーム	102名	2016 年度	参加者	4チーム	42名
2012 年度 参加者	10 チーム	116名	2017 年度	参加者	3 チーム	39名
2013年度 参加者	17 チーム	133名	2018 年度	参加者	4 チーム	18名
2014年度 参加者	16 チーム	87名	2019 年度	参加者	3 チーム	12名
2015 年度 参加者	16 チーム	92名				

### (1)日本バプテスト連盟を通しての活動

2011 年9 月から、毎年実施している活動。現地の教会が交流されている宮城県石巻市牡鹿半島などで一緒に活動したり、他大学との交流プログラムがあります。









#### 神学部 神学科 原田仰

私はボランティアとは何なのかということを学びました。「閖上の記憶」というところでガイドの人がおっしゃったひとこと、「支援って、復興とはいったい何なの?」それは今、ボランティアにかかわる私に突き刺さるものでした。それは復興と共に、思い出を失くしていく、仮設住宅でできた関係を失くしていく人たちの言葉でした。ボランティアを必要としている方々が期待することは何なのか。それを真摯に受け上めていく必要性を学びました。

#### 経済学部 経済学科 大森涼矢

東日本の方にはあまり行ったことがなく、東 北地方に行ったのも今回が初めてでした。今回 この活動に参加したのは、震災状況の詳細やそ の後の復興状況などを全然把握していない、だ からこそ自分の目で確かめたいと思ったから です。そして実際に宮城の地に行って、写真や 映像、展示物、震災を目の当たりにした方々の 話などから分かる震災の悲惨さ、その中でも選 く生き続けてきた方々と進められてきた復興 事業など、直接自分の足で行き、自分の目で見 たからこそ得られた経験と情報がありました。 参加できてよかったです。

### (2)大学間連携災害ボランティアネットワーク (事務局:東北学院大学)

2011 年9 月から、毎年実施している活動。全国141 の大学が連携してネットワークを築き、全国から集まった学生たちと一緒に活動します。「夏季集中ボランティア2019」では、気仙沼・亘理郡山元町・石巻市牡鹿半島の3 つのプロジェクトのうち、山元町での活動に参加しました。活動内容は、多岐にわたり、毎年、異なります。





#### 法学部 法律学科 織田尚子

勉強、バイト、部活、サークル、遊びという夏休みを過ごすのも悪くないなと、入学当初は思っていましたが、夏休み直前になり、大学生だからできることは他にないか、自分の為だけに過ごす夏休みで終わっていいのかと自問自答し、気にかけていたボランティア活動の話を聞きに行きました。ほんの少しの興味から、東日本大震災のボランティアに参加することになり、東北の復興に関わる中で、自分の目で見て、現地の方のお話を聞けて、大変貴重な体験ができました。少しでも興味があれば、大学生活の中での素晴らしい体験の1つをボランティアをとおして作って欲しいです。

### ③熊本地震ボランティア

2016 円4 月14 日21 時26 分頃に、熊本県熊本地方を震源とする、マグニチュード6.5 の地震が発生し最大震度7 を観測。さらに、4 月16 日1 時25 分頃には、同じく熊本県熊本地方を震源とする、マグニチュード7.3 の地震が発生し、この地震でも最大震度7 が観測されました。本学からも熊本に学生や教職員を送り出し、ボランティア活動を行っています。

### 4年間 延べ活動者 12チーム 168名

2016年度 参加者 7チーム 131名 2019年度 参加者 2チーム 19名 2017年度 参加者 3チーム 18名

九州キリスト災害支援センターのご協力のもと、益城町の仮設住宅で活動活動内容: 熊本地震の現状の学び、仮設住宅の方々との交流や学習支援ボランティア。

#### 文学部 英文学科 田之上まい (学習支援)

今回のボランティアは、震災後からどれくらい復興しているのか、どんな支援が必要なのか現状を知りたいと思い参加しました。震災直後は、物資の支援や倒壊した家屋の片付けなど、支援すべきことが明らかでしたが、次第に被災者のニーズが多種多様になり、心のケアも重要になってきたと知り、被災者に寄り添っていくことが必要なのだと思いました。熊本地震の報道が次第に減少する中、まだ仮設住宅に住んでいる人がいることや、支援を必要としている人がいることを忘れないことだけでも、彼らに寄り添っていることに繋がり、小さな行動でも役に立てるようになりたいです。







#### 商学部 経営学科 小野友莉子 (傾聴交流)

1年ぶりに訪れた益城の仮設住宅での活動では、すでに退去された方たちも参加してくださいました。一緒に写真立てを作りながらお話をして、とても楽しかったし、「あなたたちみたいな若い人が来てくれてうれしい、また来てね」とおばあさんが言ってくださって、自分がここに来た意味を考えました。物的なことは解決してきても心的な問題はまだまだ残されている被災地の現状を知り、今後も自分にできることは何かを考え、小さなことでも少しずつ行動していきたいです。

### ④ 平成 29 年 7 月九州北部豪雨災害ボランティア

2017 年7 月5 日から6 日にかけ、福岡県と大分県を中心とする九州北部で猛烈な雨を継続して降らせたことから、記録的な大雨となり甚大な被害が発生しました。本学も行政や他大学、NPO 団体などと連携し、学生や教職員を送り出し、ボランティア活動を行っています。

・東峰村ボランティアセンター 2日間 延べ11名 (職員4名・学生7名)

·うきはベース1st 24日間 延べ108名 (職員16名・学生 92名)

·うきはベース2nd 34日間 延べ207名 (職員19名·学生188名)

·うきはベース2018 32日間 延べ140名 (職員 8名·学生132名)

·うきはベース2019 21日間 延べ 70名 (職員 2名·学生 68名)

### (1) 東峰村災害ボランティアセンター 宝珠山サテライト (2017.7.16 と7.17 の2 日間)

7月14日に開設したばかりの本部で、運営スタッフとして活動。 活動内容:受付係、資材係、物資係に分かれて担当

(2)大学生災害ボランティア支援センター実行委員会主催 「うきはベース1st」(2017.7.22 から2017.9.18 まで)

### ①実行委員会運営委員

福岡県、NPO 法人ANGEL WINGS、北九州市立大学、西南学院大学

### ② 「うきはベース 1 st」とは

うきは市から「ムラおこしセンター」を無料で貸与していただき、全 国からボランティア活動のために来福した大学生の無料宿泊拠点と して整備、また研修及び学生同士の交流などを実施。

期 間:2017年7月22日~9月18日毎日60日間

利 用 者:全国から92 大学等872 名

活動内容:ボランティアセンターの運営、泥出し、環境整備、ニーズ

調査、交流など

#### (3)福岡学生災害支援実行委員会主催

#### ①実行委員会運営委員

NPO 法人ANGEL WINGS、北九州市立大学、久留米大学、西南学院大学 (福岡県は委員会メンバーではなく、助成金拠出側として後方支援)

#### ② 「うきはベース2nd」とは

「うきはベース1st」に引き続き、学生たちの夏休みが終わっても、週末に継続して活動できるよう、新しい拠点「うきはベース2nd」を設置。助成金を獲得しながら、元JAにじ山春支店に拠点を移動し活動。

期 間:2017年9月19日~2018年3月31日まで週末、祝日、長期休み

利 用 者:全国から35 大学等674名

活動内容:泥出し作業、農業支援、仮設住宅支援、イベント支援、松末さいこうプロジェクト、子ども支援、交流など

#### ③ 「うきはベース2018」とは

2018 年度も引き続き、月2回、週末に「うきはベース2nd」で活動。

西日豪雨災害により、再度被災した朝倉市杷木地区を中心に活動を継続。地域の方々に寄り添い、交流しながら現在も活動している。

期 間:2018年4月~2019年3月

活動内容:松末地区、東林田地区、志波地区などとの交流、支援活動など

杷木復興支援ベースを通しての活動、プレーパーク活動、統合した杷木小学校で の学習サポートなど









#### ④ 「うきはベース2019」とは

2019 年度も引き続き、月2回、週末に「うきはベース2nd」で活動。地域の方々や子どもたちに寄り添い、交流しながら、現在も活動している。7 月から8 月にかけて、台風や豪雨が続いて中止となった活動も多かった。後期には、「うきはベース2nd」から「WA ッショイ杷木」に拠点を移すための拠点作りや引越も行った。

期 間:2019年4月~2020年3月

活動内容:「かたらんね杷木」の活動を通して地域の方との交流、子どもの遊び場支援「すくすく朝倉の未来隊プレーパーク」、土砂が流入した田畑の再生実験を通じた農業支援、うきはベース拠点作り、復興マルシェ、九州北部豪雨の現状の学びなど

#### 人間科学部 心理学科 萩平苑子

私は子どもの遊びを補助するブレーパークの活動に参加しました。最初は自分に何ができるのかわからず、行っても何もできることがないのではと不安でしたが、現地に行くと自分も必要とされて、話しかけると子どもたちも応えてくれて、楽しく遊ぶことができました。一緒に遊んだ子に「また来てね」と言われたのがとても嬉しかったです。プレーパークでは子どもたちがのびのびと遊んでいる姿がとても印象に残りました。3 年生になって初めてこのようなボランティアに参加してのですが、もっと早くから参加しておけば良かったと思いました。これからも参加できる時に活動していきたいと思っています。

### 5 広島ボランティア

過去を見つめ、現在と将来の「平和」を考え、様々な背景を持つ他者と「共生」することを考えることを目的としたプログラムを実施しました。

活動内容:広島平和記念資料館見学や、平和記念公園での碑めぐり、広島キリスト教会にて主日礼拝、被爆された方からのお話、貴船原少女苑見学・視察 など。





#### 人間科学部 児童教育学科 村上修平

活動内容は、私たちが普段想像しているような汗水を垂らして誰かのためになるというような内容とは違います。しかし、被爆された方や少女苑の実態など、メディアだけではなかなか詳しく知り・感じ取ることのできない事を、実際に経験できるいい機会となりました。そして実際に経を連んで知り得た正しい情報を、私たちの周りに伝えていく、これもある種、違った方面でのボランティアでした。

### 同 福岡で活動する被災地支援ボランティア

学生たちは、実際に被災地の状況を見て、感じ、被災地の皆さんと交流し、活動する中で、さまざまな想いを抱いて帰ってきました。学生たち一人ひとりの活動は「点」にすぎないけれど、みんなの「点」を集めれば「線」になるということを信じて活動してきました。学生たちは、東北など現地の活動だけで終わらず、福岡でできることを考え、発信しています。

福岡での復興支援活動は、まだ東北や熊本や朝倉に行ったことがない学生も参加できます。 イベント当日のみの参加も可能です。まずは、自分でできることを考え、福岡で自分の「点」を 残してみませんか?詳細はボラセンにお問い合わせください。

#### 2019 年度実績

#### (1)ボランティア&平和研修報告会(2020年1月16日)

2019 年度活動した学生たちが、チームごとに発表しました。先輩たちから後輩たちへ、一人ひとりの「点」がつながって「線」になっていることを実感しました。被災地での活動だけでなく、海外ボランティア、平和研修、その他のプログラムでの活動も一緒に報告しました。



### (2)はるかのひまわり(5月9日)

阪神・淡路大震災ゆかりの「はるかのひまわり」絆プロジェクトに参加し、キャンパスに「ひまわり」の種を植えました。2012年度震災ボランティアに参加した先輩たちが宮城県の門脇小学校から持ち帰った種でした。毎年、ひまわりを育てることを通して、阪神・淡路大震災、東日本大震災のことを忘れずに、命の大切さについても語り続けています。

2015年は、西南学院大学のキャンパスで採取した種を広島土砂災害で被災した、安佐南

区「阿武の里」花いっぱい プロジェクトに届けました。今年もキャンパスにひ まわりの花を咲かせます。







### (3)朝倉ファムトリップ (5月10日~11日)

西日本新聞主催の、「ファムトリップ」を通して朝倉が本来持つ魅力である産業、農産物、観光地、文化施設などに輝きと賑わいを取り戻し、水と緑と街が調和する健康文化都市として従来以上にポジティブなイメージを広げていくことを目指したプログラムに参加しました。



#### 経済学部 国際経済学科 高下比呂

今回の活動は、観光客としての視点から、被災地の復興につながるためのアイデアや新たなビジネスモデルを考えるというものでした。私は、以前に2回朝倉のボランティアに参加しましたが、ワークショップを通して復興にむけてのアイデアを考えことはなかったので困難でした。しかし、今回の活動を経験して、問題が生じたときにどのようにすれば解決できるのかを考えて行動を起こすことが大切だということに気づきました。

### (4)7月5日防災研修(7月5日)

2017年7月5日から6日にかけて、九州北部豪雨災害が起きました。被災地のことを覚え、7月5日(金)、1号館710教室にて、学生ボランティア団体「いと」主催で防災研修を開催しました。福岡市職員の宮本氏をお招きし、防災ゲームなどを通して、災害に必要な知識を学びました。



#### 法学部 国際関係法学科 上村楽人

7月5日に実施された防災研修を通してまず私が驚いたことは、災害時における対処方法として、私がこれまで考えていた対処方法と福岡市役所の方に教えて頂いた最善の対処方法とが全く異なっていたということです。もし今回の防災研修を受講していなかったら、いざ災害が発生した時に、おそらくきちんと対処することができないであろうと考えた。今回の防災研修を受講することができて本当に良かったです。将来もし大なり小なり災害が発生した時は、今回学んだことを活かせるように、日頃から意識して行動していきたいです。

#### (5)夏休みこども防災教室in 西南学院大学(8月23日)

UR 都市機構九州支社と連携し、団地に住んでいる子どもたちを大学に招き本学学生が防災について伝え、一緒に楽しみながら学ぶイベントを開催しました。キャンパスツアーや防災教室、身近なものを使って作る防災グッズの工作などをしました。







### (6)神戸訪問震災学習プログラム2019 (11月2日~4日)[2泊3日]

尚絅学院大学主催で震災から24年が経過した兵庫県神戸市を訪問し、フィールドワーク や語り部の話を通じて、阪神・淡路大震災について知ると共に、その後の復興の歩みについて 学んだり、現地大学の学生と意見交換したりして、復興や防災について考えを深めました。



#### 法学部 法律学科 山口温菜

私は、研修に参加し、阪神・淡路大震災について学ぶことで、発生した日付・時刻をすぐに言うことが出来なかった以前の私を恥ずかしく思いました。語り部の方の多くが、目に涙をためながら話され、街中の至るところに、記憶しておくための施設がありました。何かあってからではもう遅い。他人事にせずに、自分で、そして周りで助け合うことの重要さを忘れず、それを伝えていきたいです。

### (7)みやぎ招へいプログラム (11月23日~24日)[1泊2日]

復興大学災害ボランティアステーション主催で、大きな震災を経験した地域(熊本、福岡、 兵庫、北海道、宮城)の学生ボランティアが、互いを刺激し合い、宮城の復興経験を学びながら 交流し、助け合うことで今後の復興及びまちづくりの担い手づくりの機会とするプログラム に参加しました。



#### 人間科学部 児童教育学科 川口智笑

活動に参加して、同世代の被災地の大学生と、改めて東北の今について一緒に学ぶことが出来ました。たくさんの語り部の方々のお話を通して、同じ「被災」でも立場や地域によって、一人ひとり被害が違うことに改めて気付かされました。また、大学生として、そして来年から社会人となる身として多くの考え方を取り入れることができて、改めて震災を自分事として捉える機会となりました。

### (8)2019 年度大学間連携災害ボランティアシンポジウム (12 月14 日)

東北学院大学で開催された、学生ボランティアを考える機会としてのシンポジウムで、「災害ボランティアの25年・・・これまでとこれから」をテーマとした基調講演や、リレートーク、パネルディスカッション、学生間ワークショップなどが行われました。パネルディスカッションには本学から学生1名が登壇しました。



#### 経済学部 国際経済学科 石崎佑磨

東北学院大学を中心に開催された大学間連携災害シンポジウムには、今回も全国から学生が集まりました。日本各地で災害が起きている昨今ですが、それと負けないくらい、情熱を傾けボランティア活動を続ける学生が全国にいます。彼らからは刺激を大きく受けましたし、同じ苦悩を持つ仲間がいると知った安心感もありました。ここでできた繋がり、学びを糧にしてまた活動をしていきたい、そう思える時間をこのシンポジウムで過ごせたと思います。

#### (9)大学祭にて教室展示(11月14日~17日)

教室展示では、これまでの活動をまとめた資料や写真などを展示しました。大学祭には、 地域の方々や学生たちの家族や友人、お世話になった方々も足を運んでくださいました。売り上げの一部を被災地に募金しました。

### (10)被災地にクリスマスカードを贈ろう(被災地へ思いを届ける!)

2011 年冬から、毎年、手書きのメッセージを添えて被災地の方々へクリスマスカードを贈ります。活動で交流している岩手県大槌町や宮城県の牡鹿半島の方々、朝倉市の杷木小学校の子どもたちにも贈りました。また「被災地の子どもたちに、クリスマスカードを届けよう!プロジェクト」にも参加し、東北・熊本・岡山・広島・愛媛・北海道・大阪など、全国の被災地にも届けられました。



#### (11)活動報告

日本バプテスト連盟の教会(大名クロスガーデン〈10 月6 日〉·長住バプテスト教会〈12 月8 日〉)で報告しました。







### 7 海外ボランティア

#### 海外ボランティア・ワークキャンプ

2003年度から、フィリピンでワークキャンプを実施しています。日本とフィリピンの国際飢餓対策機構と連携し、同じアジアの中で違う「アジア」を体験し、地元の人たちとの交流や貧困地域で活動を行い、ボランティアマインドを育成することを目的に活動しています。

1. 活動期間:2月~3月の11日間 2. 活動場所:フィリピンマニラ郊外

3. 活動内容: 貧困地域で活動、地元の人たちとの交流

小学校訪問、家屋修理や校舎の建築などのワーク

4. 募集方法:ポータルにて案内(説明会有)

5. 募集人数:約15名







# ベイラー大学との交流ボランティア※2018 年度実施

### (2019年3月13日~16日)

協定校であるアメリカのベイラー大学との交流ボランティアで、日本とアメリカの大学生が一緒にボランティア活動することにより、文化の違いも含め、さまざまな社会問題について考える機会とし、本学からは10名、ベイラー大学からは11名の学生・教職員が共に活動しました。







#### 商学部 商学科 喜久田祥子

私は、2019年の3月14日~3月16日に、ベイラー大学とのミッショントリップに参加しました。活動内容としては、子ども食堂での手伝いや子供達との交流、久山療育園でのウォークラリーなどでした。とても充実した時間をベイラー大学の学生達と過ごすことが出来、別れが惜しかったです。この3日間での出来事、経験は今の自信にも繋がっています。皆さんも是非ボランティアに参加してみて下さい!

#### 海外ボランティア支援

西南学院大学のグローバル化を進めるための方策の1つとして、海外ボランティアに参加する学生を支援するために、補助金を支給しました。2019年度の対象プログラムは、「NGO合同説明会 in 西南学院大学」に参加した団体主催のボランティア及び、スタディツアーでした。この制度を利用して、カンボジア、インドネシア、ネパール、中国、フィリピンなどで、学生たちが活動しました。

①Think&Act グループワークキャンプ

活動国:ネパール

参加団体:NPO法人NICE

活動期間:2019年9月2日~9月15日

内 容:小学校での英語の授業や施設整備 ゲームなどを通した異文化交流





#### 文学部 外国語学科 英語専攻 江口花凛

「実際に行って、自身の目で見る」ことの大切さを、ネパールへ行った際に実感しました。現地の方々は、日本の様に便利な機械が無い中、シャベルやカマのみを使用し、山の上にある病院まで水路を繋げていました。環境が整っていない場所だからこそ、この活動に対する現地の方の熱い想いに、より胸を打たれました。非日常な経験が出来ることも、海外ボランティアの魅力です。是非、参加して欲しいです!

#### ②FIWCチャイナキャンプ

活動国:フィリピン参加団体:FIWC九州

活動期間:2019年8月12日~8月31日内 容:昨年作製した水道設備の事後調査、

次の春にワークを行う村の下見





#### 国際文化学部 国際文化学科 田中凜花

私は海外ボランティアを通して、様々な考えを持つことができるようになりました。大きく自分の考えが変わった点は、ボランティアが現地の人に与える影響です。国際支援のあり方について深く考える機会となりました。旅行でも留学でもなく、ボランティアで行くからこそ、気がつき、考えることが多くありました。夏に調査企画して、今後の春に実施します。今後の春のボランティアでは、村人にとっても自分にとってもさらに良いものになるように、最大限に努力したいです。

#### ③カンボジアスタディツアー

活 動 国:カンボジア

参加団体:ボランティアプラットフォーム

活動期間:2019年8月30日~9月5日

内容:村の小学校で日本語·英語教育





#### 法学部 国際関係法学科 石橋穂乃

私はカンボジアで英語と日本語を小学生に教えました。その中で1番大切だと思ったことは、五感で感じることです。私は発展途上国に興味があり、本や資料でみたり調べたりしていましたが、実際に行き、五感をフル活用してからこそ分かったことが多くありました。また、勇気を出すことで、たくさんの素晴らしい人や物との出会いが待っていることを、ボランティアに参加して感じました。

### 8 学生サポーター

各市区町村の教育委員会と連携し、各学校の要望に応じて活動するプログラムで、活動する学生を"学生サポーター"と呼んでいます。学生サポーターは、活動先の各学校において主に、授業や学校行事、クラブ活動の支援をしています。社会人としての経験に加え、教育現場で児童生徒と直接接することで教育活動を体験できる良い機会となっています。教職を履修していない学生も参加できます。

※詳細はポータルや説明会で確認してください。

4月下旬に説明会を開催する予定です。年間を通して、相談に応じています。

#### ○西南学院大学 福岡市における学生サポーター活動実績(2004年度から開始)

年度	学校数	人数
2012年度	23 校	88名
2013年度	27 校	84名
2014年度	29 校	85名
2015年度	24 校	76名
2016年度	41 校	100名
2017年度	38 校	78名
2018年度	26 校	81名
2019年度	22 校	62名







# 人間科学部 児童教育学科 鎮守菜摘 (特別支援学校で活動)

私は、学生サポーターとして、特別支援学校の授業補助をし、活動を行なってきました。特別支援学校には、ほとんど行ったことがなく、全ての経験が新鮮でした。子どもとどのように関わればいいのか分からなくなることもありましたが、何回も行くうちに、子どもらの関わりが深くなっていき、とても合った関わり方を考える貴重な経験となりました。

#### 経済学部 国際経済学科 中原智聖

(小学校で活動)

私が学生サポーターに志願した理由は、学校の先生になるという夢を持っていたからです。そのためにも、学校の雰囲気や先生のお仕事を実際に体験したいと思い、学生サポーターになりました。私は一年生で授業も多く、部活もしているため授業の合間にしか行けませんでしたが、少ない時間でも多くのことを学べました。例えば、子供たちと接する中で一人一人と向き合うことの大切さ、子供たちにやさしく接するだけでなく、厳しく大事なことを伝える指導方法です。このような貴重なことが学べる学生サポーターに参加することにより、自分の視野を広げることができました。

### 9 他機関連携 ※ 2019 年度実施

### ① 久山療育園重症児者医療療育センター

西南学院と同じ日本バプテスト連盟の関連施設で、重度の知的・身体障害を重複する障がい者に対して、医療・看護・機能訓練・保育などを行っています。重症心身障がい者が社会の片隅に収容されて生きるのではなく、むしろ地域の中心に位置づけられることを願って設立された施設です。本学では、定期的に交流し、ボランティアやスタディツアー講習会、チャリティイベントなどを開催します。



#### 運動会ボランティア

#### 文学部 英文学科 奥千夏

久山療育園には、運動会で初めて訪問しました。この運動会への参加を通じて私の視野は広がりました。私が担当させていただいた方は私より10歳上の女性の方で、そのお父様もご一緒でした。その方とお話をするなかで感じたのが、娘さんとの意思疎通は決して一方通行でないということでした。私が娘さんに声をかけたり、手を握ったりするとわずかな反応があり、それがとても印象に残っています。

#### 開園祭ボランティア



#### 文学部 外国語学科 フランス語専攻 永嶋玲奈

私は今回で2回目となるボランティア活動への参加でした。担当した場所は、久山療育園利用者の方との触れ合いコーナーです。利用者の方だけでなく、ご家族のみなさんやスタッフの方など多くの方との触れ合いを通して、人の役に立つことの喜びや大切さを学ぶことができました。利用者の方達の笑顔を見ることができ私自身も嬉しくなり、とてもいい経験になりました。

### ② ノートテイク&手話講座

NPO法人MCPの方を講師にお招きし、ノートテイク&手話6時間講座を開催しました。「ノートテイク」とは、聴覚障がいを持つ学生の耳の代わりとなり、授業などその場の「音」を「文字」にして視覚的に伝えるという支援の方法で、毎年講座を開催しています。2時間講座を3回に分けて、手話も交えながら、連続講座として実施しました。視覚障がい者支援のための、ガイドヘルプ実践も体験しました。

1回目:障がい理解・ガイドヘルプ

2回目:手話

3回目:ノートテイク

理論と実践をゲームを交えて、参加者同士がお互いに交流しながら、







障がいを持つ人と持たない人が「相互に繋がる」とはどういうことかを楽しく学びました。

### ③ 野芥校区つくって食べよう土曜昼!ボランティア

毎月土曜日に1回、野芥公民館にて、小学生を対象とした調理・学習支援ボランティアが実施されています。そこでは、子どもたちと一緒にご飯を作って食べたり、勉強を教えたりなど、交流しながら、学生たちがボランティアとして活動しました。



#### 国際文化学部 国際文化学科 森みずほ

私は地域の人との関わりが全くなかったため、この活動に参加することを決めました。多くの子供たちとの調理や学習支援を通して、ひとりひとりにどのような接し方をしたらいいのかなど自分で考えられるようになり、将来教育支援を行うなかで参考にしたいと考えています。私は、本当に一緒に参加する地域の方たちが大好きで、このような活動がずっとつづき、増えていけばいいなと思います。

### ④ 青年海外協力隊 体験報告会 [JICA](12月12日)

12月12日 (木)1号館403 教室にて、本学卒業生による「青年海外協力隊の体験報告会」を開催し、学生・教職員合わせて、約40名が参加しました。JICAについてや、実際に青年海外協力隊で活動した任務地の紹介、活動中のモチベーショングラフ、現地での仕事の内容や普段の生活、協力隊で得たもの、ボランティア案件の選び方などについて、写真や動画などを使ってお話していただきました。



#### 文学部 英文学科 古賀美咲

海外でのボランティアに興味があり参加しました。JICA 青年海外協力隊の活動は短期で一ヶ月から、活動分野や職種も多様で、自分にあったボランティアを選べるということを知り、海外でも「自分にできること」から一歩踏み出せるところに魅力を感じました。本学卒業生が、日本と異なる環境下ならではの苦労も含め、生き生きと経験を話されていたのも印象的で、自分も挑戦してみたいと思いました。

### ⑤ NGO合同説明会 in 西南学院大学(6月5日)

団体毎にブースを設置し、団体の活動紹介、スタディツアーやワークキャンプの紹介、NGO入門講座など、福岡のNGO活動について、一度に話を聞くことのできる貴重な機会となりました。学生の体験談なども聞くことができ、実際に学生たちが、海外ボランティアに一歩踏み出して活動しました。



- ·NPO法人エスペランサ
- ·特定非営利活動法人バングラディッシュと手をつなぐ会
- NPO法人NICE(日本国際ワークキャンプセンター)
- ·フレンズ国際ワークキャンプ九州委員会(FIWC九州)
- ・一般社団法人ミドリゼーションプロジェクト
- ·一般社団法人CIEE国際教育交換協議会
- ・一般社団法人ボランティアプラットフォーム (ぼらぷら)
- ·(特活)NGO福岡ネットワーク (FUNN)



#### 文学部 外国語学科 英語専攻 内村早希

今回の合同説明会で、現在の世界の貧困の現状についての知識を深め、今私たちにできることは何かを考えることができました。8つのNGO 団体の方と直接お話をしたり、質問できるブースがあり、海外ボランティアに対する興味・関心をより高める良い機会になりました。国内・海外ボランティアに興味がある人はぜひ参加してみてください!





### ⑥ NGOカレッジプレ講座「あなたのそばにあるSDGs」 (9月19日)

SDGs 推進ネットワークin 九州の方を講師にお招きし、ゲームを通じてSDGs と自分のつながりを探そう!をテーマにした【2030SDGs カードゲーム】を行いました。ゲーム後、結果を踏まえながら、班のメンバーと意見交換をし、SDGs についてや、自分たちがSDGs に取り組むためのきっかけは何かなど、より深く考えることのできた有意義な時間となりました。









#### 人間科学部 児童教育学科 木山美玖

この講座でSDGsという目標が自分の身近なものに結びついていること、さらに、身近な生活が世界とつながっていることを実感することができました。受講後は、世界の課題を自分のこととして捉え、節電や食べ物を残さないなど世界のために、今、自分にできることを意識するようになりました。SDGsの目指す誰一人取り残さない世界の実現のための一歩を踏み出してみませんか?

# ⑦ NGOカレッジ講座「あなたのそばにあるSDGs~知り、考え、行動する~ | (11月9日、16日、23日、30日、1月25日)

NGOカレッジプレ講座の本講座となる、連続講座を本学で開催しました。第1回目は【ゲームで学ぶSDGs】、第2回目は【貿易ゲームで体感する世界の貧困と格差】、第3回目は【SDGsで地方創生】、第4回目は【世界の貧困といのちを考える】、第5回目は【世界の平和をつくる取組について考える】で、それぞれ講師の方をお招きし、SDGsについて学びました。

#### 人間科学部 児童教育学科 窪田崇弘

国際協力という言葉を聞くと、実際に海外に行き、時間と労力をかけないとできないと考えていました。ただそこには色んなカタチがあって、世界の現状を"知る"事だけでも国際協力であると聞き、目から鱗でした。講座では貿易ゲームを通じて、世界の貧困や格差にふれました。今起きている現状を"自分ごと"として捉える経験を通じて、自分に何ができるのかと考えるキッカケになりました。

### 10 学内ボランティア

### 学内各部署合同募集説明会(2019年度実績)

大学内の各部署では、学生の皆さんに協力していただき、一緒に作り上げるさまざまなイベントや業務があります。各部署の募集するボランティアの合同説明会を実施しました。学内のボランティアでも、たくさんの学生たちが活動しています。

#### 【参加部署】

入 試 課:オープンキャンパススタッフなど

広報・校友課:Spirit (広報誌)企画スタッフなど

社 会 連 携 課:西南子どもプラザ・博物館ボランティアスタッフ

国際センター:留学生バディ制度、日本語学習チューター

日本語会話パートナー

ボランティアセンター:ボランティア活動全般

### 【内容】

各部署のボランティア募集内容、申込み時期及び方法、ボランティア登録など







### アンケートの感想から抜粋

- ・ボランティア活動内容がたくさんあって良いと思った
- ・将来役立ちそうな活動が多くあったので、ぜひ参加しようと思います。
- ·ボランティアのことがよく分かりました。ありがとうございました。
- ·どのボランティアも楽しそう!色々してみたい。
- ・障がい者の方 (大人の方)と関わるボランティアがしたいです。
- ・子供など、いろいろな人と接するボランティアをしてみたいです。

### ① 入試課



### 西南オープンキャンパスボランティア

毎年、2日間で約7,000人が来場し、西南学院大学の魅力を伝える重要なイベントです!運営スタッフの活動は、学生相談員や在学生講演会、キャンパスツアー、クラブ活動紹介などがあります。2日間で延べ200名もの学生が活動しています。

場所:中央キャンパス 3号館 2階

TEL:092-823-3366

Mail:adm-hp@seinan-gu.ac.jp

### ② 国際センター



### 留学生サポートボランティア

世界30ヶ国以上から来る留学生をサポートする学生ボランティアを募集しています。 留学生バディや日本語学習チューター、会話パートナーなどの活動があります。

場所:中央キャンパス 3号館 1階

TEL:092-823-3346

Mail:intleduc@seinan-gu.ac.jp

### ③ 広報·校友課



### 広報誌「SEINAN Spirit」ボランティア

在学生を対象とした広報誌を年4回発行しています。広報誌に関する学生のみなさんの視点や意見を取り入れるために、企画会議、意見交換会を行っています。

場所:東キャンパス 本館 2階

TEL:092-823-3248

Mail:koho@seinan-qu.ac.ip

### 4 聖書植物園



大学では、聖書に登場する植物を集めた「聖書植物園」を管理運営しています。その植物園の維持に必要な草取り等の活動を行っています。

**活 動 日**: 毎月 第3 十曜日 9:00~12:00

持 ち 物: 軍手、帽子、タオル

参加方法:9:00 5号館前現地集合(小雨決行)

(予約·申込なし。当日参加O.Kです!)

問合せ先:総務課092-823-3201

夜間·休日 092-841-1316

### ⑤ 西南子どもプラザ





本学の学生で、ボランティアや西南子どもプラザに興味 のある方であれば、学部、経験は問いません。クラブ・サーク ル単位での参加も歓迎します。

対 象:本学学生

活動時間:9:00~17:00の都合の良い時間(日曜除く)

場 所:西南子どもプラザ

活動内容: 来館した親子と遊ぶ・おもちゃの制作や消毒・

行事の手伝い

外国人親子との会話の手助け 等

申込み方法:問合せ先へ連絡し、子どもプラザボランティアに

登録する。(随時受付)

問合せ先:西南子どもプラザ 092-846-9207

### ⑥ 大学博物館



### 博物館ワークショップボランティア

|博物館でワークショップを行う際に、ボラン |ティアを募集しています。

詳細は、日程等が決まり次第、ボランティア登録メールや、博物館ホームページ等でお知らせいたします。

場所:大学博物館等、学内 TEL:092-823-4785

Mail:museum@seinan-gu.ac.jp

### ⑦ 障がい学生サポート

視覚に障がいのある学生を在学生や各部署と連携しながらサポートをしています! 随時、交流会や勉強会も開催しているので、"お友達になりたい方"や "サポーターに関心がある方"はお気軽にボラセンまでお問合せください。



#### 文学部 英文学科 酒井理恵

私は全盲の学生のサポートを通して、興味のあった点字を習ったり、分かりやすく説明できるように努めたりするなど、多くの経験が出来ました。一緒にランチに行ったり、休日に出かけたりするなど、サポーターとしてではなく、友人として仲良くなることが出来ました。うまくサポートが出来るかどうか不安でしたが、たくさん話して素晴らしい思い出を作ることができたので、本当に良かったです。

### 11 学外ボランティア

ボラセンには、学外の様々な団体からボランティアの依頼やイベント、スタディツアーなどの案内があります。例えば、イベントスタッフ、着ぐるみのボランティア、清掃、子ども会イベント補助、学習サポーター、福祉施設でのボランティアなど、さまざまな分野の情報がたくさんあります。まずは、ボラセンに来て探してみてください。









下の表は一例ですが、ボランティア活動にはたくさんの種類があります♪ 活動を始めるヒントにしてくださいね♪



対 象	種 類	内 容			
<del>*</del> * *	自然環境 海浜美化活動 (ごみ集め)、街や公園の清掃活動、植樹 な				
大 人   国際交流   国際協治   日際協治   日際協治   日際協治   日際協治   日際協治   日際協治   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日		ワークキャンプ、スタディツアー、難民支援(洋服回収)、留学生支援、硬貨の仕分け(国別)、日本語指導、イベントのお手伝い など			
高齢者	災害支援 防 災	被災地支援、がれき・土砂の撤去、家屋の片付け、復興支援イベン の企画・実施、避難訓練の参加、募金活動 など			
障がい者 イベント		着ぐるみ、受付、設営・片づけ、手拍子やかけ声、レクリエーションの補助、出し物、遊園地の付き添い、ポスター作成、介護補助 など			
外国人まちづくり		村おこし・地域おこしの活動、交流の場づくり、社会参加の協力(補助)、イベントの企画・運営 など			
動物	教育	学習指導の補助、通訳、ノートテイク、ワークショップ開催、遊び相手、レクリエーションの指導、 など			
植 物   	動物	小屋の清掃、お散歩、お世話、被災動物の保護活動 など			

### (1) 朝倉市宿泊体験事業 (春のトライキャンプ) (3月24日~26日) ※2018年度実施

こどもたちが、親元から離れた宿泊共同生活で様々な野外体験をするキャンプの中で、こどもたちと一緒に体験しながら、子どもたちのリーダーとしての役割を担うボランティアスタッフとして参加しました。



#### 人間科学部 児童教育学科 村上由璃華

このボランティアに参加して、児童たちのリーダーとして指導するということだけでなく、自分のスキルアップを図ることができたと感じています。2 泊3日という短期間でしたが、児童の成長を近くで見ることができて、とても良い体験をしました。特に、長距離を歩く活動では、班の仲間で協力していく姿を見ることができ、逆に元気をもらうこともありました。理論だけでなく、実体験を積むのにとても良い活動だと思います。

### ② ことなカフェ (7月13日)

ことなカフェとは、大学生が企画から運営までを行っている、大学生向けのワークショップ型イベントで、そこでは社会課題や、子どもの福祉についてなどを学び、すべての子どもの明るい未来を考えるきっかけになったらという思いで運営されています。



#### 人間科学部 心理学科 增用裕司

私は、SOS 子供の村JAPAN という団体のボランティアに参加しました。参加することで、自分の知らない世界や問題を知ることができました。知らないことを知ることで興味・関心や、やりたいことに巡り合えることもでき、自分の可能性が広がりました。また、様々な人と交流することで、自分とは異なる価値観や考え方に触れ、日常の出来事が以前とは違って見えるようにもなりました。そういった自分自身が成長し、大学生活を有意義にすることがボランティアの魅力でもあると思います。皆さんもぜひ、積極的に色々なイベント・ボランティアに参加してみてください。

### ③ 子どもと楽しく遊ぶボランティア(8月23日)

0~2歳児の子どもたちと楽しく遊ぶボランティアで、月に一度のお誕生日会での出し物や公園での遊び相手など、子どもたちと触れ合いながら楽しく過ごしました。



#### 人間科学部 心理学科 森清花

私は小さい子供と関わりたい!新たな体験をしてみたい!という単純な気持ちから『西新こども保育園ボランティア』に参加しました。普段関わることのない人と活動することで自分のコミュニケーション能力を高めたり、新たな価値観を発見したりすることができました。また、子供の感じ方や物の見方などを知る機会にもなり、心理学への興味も高まりました。この経験をこれからの心理学の学修や就活に役立てていきたいです。

④ 健康まつり着ぐるみボランティア[早良区エイズデー街頭キャンペーン](11月28日) 社会福祉協議会を通して届くさまざまなボランティアのうちの一つで、サザエさんやマスオさん、福岡市のキャラクターよかろうもんの着ぐるみを着て、イベントを盛り上げました。



#### 人間科学部 児童教育学科 青柳明里

着ぐるみボランティアでは、サザエさんをみて喜んでくれる人がいっぱいいて、たとえ中にいる自分は見えなくても、サザエさんになったつもりで心を込めて、エイズキャンペーンのティシュ配りをさせていただきました。なによりとても喜んでいただき、主催者の方には感謝され、とても嬉しかったです。何事も挑戦する、ということが大学生は可能な時期だと思います。誰かのためにという思いは必ずどんなボランティアでも、誰かに伝わると思います。これからも様々なボランティアに参加したり、自分でもできることを探しながら自分自身も磨いていきたいと思います。

### 学生グループ活動 (サークル紹介)

本学には、サークルをはじめ、たくさんのボランティア団体があり、それぞれがテーマや目標を持って取り組んでいます。興味のある方は、ぜひ代表者へ連絡して、活動に参加してくださいね。

### 学生スタッフ OPEN の活動

ボランティアセンターには、学生スタッフ「OPEN」が、さまざまな形で活動しています。 学生スタッフ研修や、OPEN 企画の説明会やイベントを実施しています。また、全国の大学 ボランティアセンター学生スタッフが交流する学外の研修会にも参加できる機会がありま す。学生スタッフについては、ボラセンへ問い合わせてみてください。

### ① 学生スタッフ研修

大学ボランティアセンターのスタッフと一緒に活動するボランティアセンター学生スタッフが、キャリア教育・就職支援の専門家によるブラッシュアップ・チームビルディング研修に参加しました。個人の課題をグループで分かち合い、さらに成長するためのヒントを皆で探り、最終的にはチームとしての今後の方向性を考えました。





### ② 学生ボランティア団体合同説明会

学生スタッフOPEN の企画で学生ボランティア団体合同説明会を実施しました。ボランティアをしたい! 何か楽しいことをしたい! ボランティアに興味がある! どんなボランティアをしたいか悩んでいる人! たくさんの人と話してみたい人! 一人ひとりが、団体や活動とつながっていきます。







### ③ カレッジ福岡との連携プログラム

福祉型大学のゆたかカレッジに通う学生と学生スタッフOPENのメンバーが、9月に、ゆたかカレッジに通う学生を本学にお招きして、キャンパスツアーを行ったり、11月には、ゆたかカレッジにて、「自己紹介をコミュニケーションのきっかけにする」という単元の授業に参加したりして、交流を深めました。



#### 人間科学部 心理学科 前田穂乃佳

私はカレッジ福岡の皆さんと仲良くさせていただきました。そこでは、 一人ずつ自己紹介をしたり、グループに分かれて学校の話や何気ない日 常の話など普段私たちが話しているような話をしたりしました。短い時間の中での交流でしたが、一人ひとりに輝く個性が沢山あり、とても楽しい時間を過ごしました。あっという間だったので、また皆さんとお会いしてたくさんお話ししたいです!

### ④ 百道浜小学校夏祭りボランティア

7月20日に百道浜小学校で行われた夏祭りに、学生スタッフOPENのメンバーがボランティアとして参加しました。百道浜にお住いの方々と交流しながら、楽しく活動しました。



#### 国際文化学部 国際文化学科 牛房香奈子

私は、夏に百道浜小学校で行われた夏祭りのボランティアに参加しました。小学生の元気いっぱいな姿を見ながら一緒に活動し、とても楽しい1日になりました。祭りに参加される方々のために、裏で様々な方が働いておられることを学び、自分もまた、子供たちの笑顔のために活動することに喜びを感じました。この繋がりを大切にして、今後も色々な行事にボランティアとして参加したいと思いました。

### ⑤ 大学ボランティアセンター学生スタッフセミナー

全国の学生スタッフが一堂に会し、ボランティアについて、ボランティアセンターでの学生スタッフの役割について考えるセミナーに、学生スタッフOPENのメンバーが毎年参加しています。



#### 商学部 商学科 溝口綾音

私は大阪で全国各地から来た15 大学のボランティアセンターの学生スタッフ35 名とボランティアについて学んだり、交流をしたりと密度の濃い2 日間を過ごしました。一番印象に残ったことは、他大学のボランティアセンターにおける学生スタッフの活動の幅の広さです。他大学では、広報だけでなくボランティアコーディネーションまで学生がしており驚きました。西南の学生はボランティア活動に積極的だとは思いますが、まだ参加したことがない人に興味をもってもらえるような活動ができればと思いました。

### ⑥ 大学ボランティアセンター学生スタッフリーダーセミナー

大学ボランティアセンターで活動している学生スタッフのうち、運営の中核を担うリーダーを対象としたセミナーで、リーダーとして何をすべきか、楽しくなるミーティングについてなど、全国の学生スタッフと一緒に考えます。

### ⑦ 学生ボランティアミーティング(12月7日)

福岡市NPO・ボランティア交流センターあすみん主催のグッドアクティビティフェスティバルにて、大学やサークルの垣根を超えて、これからの社会貢献についていっしょに考える場として、学生ボランティアミーティングが開催され、学生スタッフOPENのメンバーが参加しました。



### 経済学部 国際経済学科 窪田美来

初めて学生ボランティアミーティングに参加し、さまざまな団体の活動報告を聞きました。同世代の人が実際にボランティアの活動をしていることを実感することができて、私自身とても刺激を受けました。また、活動の内容は違ってもボランティアをしたいという同じ思いをもった同世代がたくさんいることに驚くとともに嬉しかったです。



#### (1) OPEN

活 動 日:毎週金曜日の昼休み

活動場所: 1 号館の教室もしくはチャペルセンター 代表者:北野沙也加(人間科学部心理学科)

OPENとは…(ボランティアセンターの学生スタッフです^^)

O…Opportunity \*ボランティアの紹介を通じて出会いの"機会"を!\*

P…Peace \*ボランティアを通して "安らぎ"をみんなの心に!\*

E … Enjoy \* 西南生が "エンジョイ" できる場作りをお手伝い! \*

N…Network \*人が "つながる"場所を作ります!\*



**今までの活動**: 学内のボランティア (ペットボトルキャップの 回収、三角柱作り、チャペル调報の挟み込みなど)、学外のボラン ティアへの参加、講師による研修会、サークル内での交流会

今後の活動:ボランティアの企画・運営、参加+広報活動、サー ル内での交流会、他ボランティアサークルとの交流

こんな人集まれ!!:ボランティアを企画・運営したい人、ボラン ティアに興味がある人、ボランティア仲間が欲しい人、他サーク ルとの掛け持ちOK!! ぜひ一度、見学にきてみてください!





#### (2) いと

活 動 日:毎週木曜日お昼休み

活動場所: 1 号館2 階活動室

代表者: 皿海ひいな(人間科学部 社会福祉学科)

皆さんこんにちは♪私たちは主に災害支 援ボランティアを行っている学生ボラン ティア団体「いと|です!いとは、東日本

大震災をきっかけに "福岡からできる被災地支援"を目的として2013年の春に設立され た団体です。「いと」というサークル名には個人の点としての活動を一つ一つ繋げて線にす る、という意味が込められています。

いとの活動は、災害時の校内募金活動やチャリティーイベントの開催、大学祭への出店 など幅広いです。夏休みには大学で子どもたち向けの防災教室を開いていて、今後は地域 の消防団との活動も行っていく予定です。いとでは、自分の予定に合わせて気軽に様々な ボランティアに参加できる環境が整っています。大学生活で一度はボランティアに参加し てみたいと思っている方!ぜひ一緒にいとで活動してみませんか?





### (3) のびっこの会

活動日:第2・第4土曜日の午後

活動場所:5号館

代表者: 寺﨑翔梧(人間科学部児童教育学科)

のびっこの会は障がいをもった子ども たちとその兄弟児と一緒に遊ぶサークル です。2008 年度に国際ソロプチミスト

福岡 - 中央よりシグマソサイエティとして承認されました。毎月第2:第4 土曜日のお昼から主に5 号館で活動しています。現在は50 名以上の学生が在籍し、15 名ほどの子どもたちと交流しています。

活動では工作をしたり、お菓子を作ったり、夏にはキャンプ、冬にはクリスマス会を 行ったりします。活動内容の決定や準備などは学生たちですべて行い、そのために毎週火 曜日の昼休みに学生で集まって話し合いをしています。

また、活動以外にも本屋での絵本の読み聞かせやNHK でのボランティアにも参加しています。興味がある方はぜひ見学に来てください!(^ $\bigcirc$ ^)





#### (4) 西南FIWC九州

活 動 日:不定期

活動場所:博多びおとーぷ

代表者: 樋口歩美(国際文化学部 国際文化学科)

FIWC 九州は、福岡を拠点にワークキャンプというボランティアの形で国際協力・国際交流を行う学生団体です。主に所属し

ている団体は、九州大学や西南学院大学などです。活動を行っている国は、日本・中国・フィリピン・ネパールの4カ国で、各国によって行っている活動は様々です。長期休暇 (春・夏)を使って現地で活動を行います。現地調査から資金集め、インフラ整備などの活動を、自ら運営・企画できるのが学生だけで運営しているFIWC 九州の特徴です。海外ボランティアをしたいけど、、、と不安な学生さんの相談も受け付けていますので、気軽にご連絡ください。







### (5) 学生YM(W)CA

活動日:毎週水曜日 15:30~ 活動場所:1号館410教室(部会)

代表者:岩田航樹(経済学部経済学科)

私たち学生YM(W)CA は、5つの班に分かれてそれぞれのテーマに沿ったボランティアを行っています。小学生と一緒に

近くの公民館で様々な体験をしたり、施設に行って、障がい者の子どもたちと遊んだり、また、たくさんの外国の子どもたちに勉強を教えたりしています。他にも、ユニセフ募金、地域清掃など幅広いボランティアをさせていただいています。ボランティアをして、たくさんの人と関われることで、人と触れ合うことの楽しさ、そしてボランティア自体の楽しさを学ぶことを目標とし、活動しています。





### (6) ワークキャンプ部

活 動 日:毎週水曜日 活動場所:西南会館5階 代表者:丸本遼(人間科学部児童教育学科) ワークキャンプ部は2大学合同(九州 産業大学、西南学院大学)の福祉系ボラン ティアサークルです。全体で約50人のメ

ンバーが異なる訪問先を持つ5つのグループに分かれて、月2.3回程度それぞれの施設を訪問し、子どもたちや入所者さん、高齢者の方々と交流しています。たくさんの人との出会い、日常生活では体験できないことがみなさんを待っています!私たちと一緒に大学生活を楽しみませんか?連絡をお待ちしています!!







### (7) Think&Act

活 動 日:毎週木曜日 活動場所:代表者にお問い合わせください 代 表 者:竹内秀一(文学部外国語学科 英語専攻) Think & Act は国際協力、国際交流、国内ボランティアなどを行う学生団体です。国際協力としては、毎年夏季休暇を利用し、海外ワー

クキャンプに参加しています。一昨年はモンゴル、昨年はインドネシアとネパールへ行っており、今年もアジア圏内のワークキャンプに参加する予定です。国際交流では西南学院に来ている留学生との交流を行っており、実際に、毎週木曜日は一緒に活動をしています。そして、国内ボランティアでは東北の被災地への支援や福岡市海浜公園主催のボランティア、西南学院子どもプラザのイベント支援など様々な活動に参加しています。毎週の活動では、クリスマスパーティやハロウィンパーティなど季節に合わせた活動やメンバーの仲を深めるような活動をしています。全体の雰囲気がとてもよく、アットホームなサークルです。気になる方は、気軽にご連絡ください。







### (8) 西南ラブ・グリーン

活 動 日:不定期 活動場所:福岡ヤフオク! ドーム・福岡市役所・

西新商店街など

西南ラブ・グリーンは、e c o 活動・地域と商店街でのボランティア活動を行っています。

福岡工業大学、中村学園大学、九州大学、福岡女学院大学、福岡女子大学など他学校と200名のネットワークを構築して、市役所などの行政や、企業、地域、商店街と連携して活動しています。福岡ソフトバンクホークスとのドームでのクリーンアップ活動、海岸清掃、SUN SET LIVE という野外フェスや、大学祭でのゴミの推進活動、エコ食器・ゴミ分別ブース運営などのほか、学童保育施設の子どもたちへのボランティア活動や、地域商店街のお祭り運営・企画のボランティアも行っています。



### (9) SIEC (西南国際教育協力隊)

活 動 日:未定(週1~2回5.6限)

活動場所:西南会館会議室

代表者:保坂美波(人間科学部児童教育学科)





私たちSIEC (西南国際教育協力隊)は、他大学と共同で「すべての子どもたちに行き届いた教育を届けるプロジェクト」として、毎年3月と11月の年2回カンボジアに渡航し、都市部にある学校から郊外にある学校まで幅広い地域で教育支援を行っています。昨年からラオスでの支援も開始し、3月にはラオスにも渡航しています。具体的には、運動会の開催、体育、音楽、図画工作等の提案授業、児童養護施設訪問を行っています。また、今年からは科学の授業も取り入れるなど年々新たな挑戦をしています。

国内では、学内や近隣の小・中学校、自分たちの母校に寄付(赤白帽子、ノート、筆記用具、楽器、夏用衣料etc)を募っています。この寄付物は、現地で運動会や授業に参加してくれた子どもたちに参加賞として一人ずつ手渡ししています。また定期的に他大学と会議を行い、渡航に備えています。さらに、大学祭では模擬店で実際に現地で購入したカンボジアコーヒーを販売したり、教室企画でポスターを掲示したりして、私たちの活動を紹介しています。各々が他のボランティア活動に参加したときには情報共有を行い、支援とは何かを考えながら日々活動しています。

興味がある方はぜひ一度活動を見に来てください!連絡をお待ちしています!!!

#### (10) 手話サークル とびうめ

活動 日:毎週水曜日 4時限目

活動場所:チャペルセンター

代表者:山口梨那(経済学部経済学科)

連絡先: seinan.tobiume@gmail.com

私たちは、毎週水曜日4限に集まり、指導者の方のもと手話やろうあ者の生活・ 文化などを学んでいます。学ぶ中で難しい こともありますが、毎週楽しく活動してい

ます。また、手話検定にも積極的にチャレンジしています。さらに活動日以外にも手話カフェなどに出かけ、当事者の方々と交流しています。難しいと思われるかもしれませんが、少人数のサークルなので、メンバー同士の交流も密にとることができ、楽しく学べる

サークルとなっています。手話に興味がある方、参加を考えている方、ぜひ連絡をお願いします。





### (11) Pao

活 動 日:毎月 (8月、1月を除く)第2または第3土曜日(子どもたちとの交流活動)、毎月5回程度話し合い、準備(昼休み等)活動場所:5号館106教室(子どもたちとの交流活動)、児童発達支援センターゆうゆうセンター等(話し合い)



私たちPao は主に発達障がいの障がいをもった子どもたちと交流する学生主体のボランティアサークルです。月に一度の子どもたちとの交流活動では"子どもたちの居場所づくり"をモットーに、運動会、クリスマス会などの季節に合わせた活動や、室内・屋外遊び、お出かけ、大学祭めぐりや工作、クッキングと様々な活動を行っています(8月と1月を除く)。また、児童発達支援センターゆうゆうセンターの方にアドバイスをいただきながら、障がいをもった子どもたち一人ひとりの特性を考慮し、子どもたちが楽しめることはもちろん、心に残る思い出や成功体験の機会をつくり、子どもたちの自信に繋げられるような居場所づくりを目標に活動を考えています。ほかにも、年に2回学習会(ゆうゆうセンターの方によるワークショップ形式のセミナーetc)を開き、障がいについての知識を得たり、学生間で意見交換を行ったりして、日々の活動に活かしています。

Pao 最大の魅力は、学生主体であり、学年の壁がないため気軽に自分たちのしてみたいことに挑戦できることです! 自分たちが考えた活動で子どもたちが楽しく遊んでいる姿や笑顔を近くで見ることができます! 興味がある方はぜひ一度活動に参加してみてください! 体験も大歓迎です! 連絡をお待ちしています!

### 学生ボランティア団体助成

一般財団法人学生サポートセンターが主催する「学生ボランティア団体支援」に、2019年度は、ボランティア団体「西南FIWC 九州」が選ばれ表彰されました。これは、学生のボランティア活動を社会参加の第一歩と位置付け、「自由な発想と行動力」によって、社会貢献を計画・実行している学生の団体を対象に、団体組織の活性化やネットワーク作りなどを経済的に支援し、社会貢献活動を応援するというものです。





### 過去の受賞団体

2019 年度 西南FIWC 九州

2018年度 Pao

2017年度 OPEN

2016 年度 学生YM(W)CA

2015 年度 Think&Act

2014年度 いと

2013年度 手話サークルとびうめ

2012 年度 Mits

2010 年度 学生YM(W)CA

2009 年度 西南ラブ・グリーン

2008年度 のびっこの会

### 印刷機・紙折機・裁断機の使用(無料)について

#### 利用できる団体

・学生課で「ボランティア団体」として公式に登録し、ボラセンが許可した団体

#### 利用の手続き

印刷機・・・(用紙については各自で用意すること)

- ・ボラセンで、学生証と引き換えに印刷機利用カードを受取り、使用する。
- ・使用申込書に団体名、使用枚数を記入し、使用する。
- ・使用後、ボラセンで印刷機利用カードを返却し、学生証を受取る。

紙折機·裁断機

使用前・使用後に、ボラセンに団体名などを告げる。

### 活動室の利用について

#### 利用できる団体

- ·学生課で「ボランティア団体」として公式に登録し、ボラセンが許可した団体
- ・団体設立に向けて検討中の場合は相談すること。

### 利用の手続き

ボラセンで活動室の予約をする。

【利用可能な時間】

通常期間 月~金 9:00~17:00

※長期休暇中や行事などで閉室する場合があります。



### ボランティア活動保険

ボランティア活動中や行き帰りにケガをした時、また活動先の物を壊したり、人にケガを

させた場合に補償をするのが「ボランティア活動保険」です。万が一の備えや安心して活動が出来るよう、活動の前に加入してください。 ※ボランティア保険は、自治体によって異なりますが、主に300円前後の掛け金で、万が一の事故を補償してくれます。(加入日の翌日から当該年度の3月31日まで有効)

### 加入申込の手続き

各市区町村の社会福祉協議会



### 社会福祉協議会(社協)

地域に暮らす高齢者や障がい者をはじめ、すべての市 民が住み慣れた地域で、安心して住める福祉のまちづく りを目指しながら、地域の様々な福祉課題を解決してい くために、社会福祉事業の企画・実施・ボランティア活 動の推進、福祉関係者の連絡調整等を行っている団体で す。また、全国、都道府県、政令指定都市、市区町村にそれ ぞれ設置されています。

※「社会福祉協議会」は、長い名称なので、略して「社協 (しゃきょう)」とも呼ばれています。



社会福祉法人 福岡県社会福祉協議会

> 〒816-0804 福岡県春日市原町3-1-7 福岡県総合福祉センター (クローバープラザ)内 tel.092-584-3377 fax.092-584-3369·3381



2 社会福祉法人福岡市社会福祉協議会 ボランティアセンター

> 〒810-0062 福岡市中央区荒戸3丁目3-39 市民福祉プラザ2階 tel.092-713-0777 fax.092-713-0778



社会福祉法人福岡市早良区社会福祉協議会 早良区ボランティアセンター

> 〒814-0006 福岡市早良区百道1-1-1 UMIBE B.L.D 1階 tel.092-832-7383 fax.092-832-7382



# 2019 年度ボランティアセンター活動記録(前期)

	/3 F	被災地支援ボランティア	海外ボランティア	7 0 114
	通年	災害 • 防災	国際交流	その他
4月		<ul><li>うきはベース (4/21)</li></ul>	<ul> <li>カンボジア運動会プロジェクト(通年) ※寄付BOX設置 ※学生ボランティ ア団体</li> </ul>	・学内各部署ボランティア募集合同説明会 (4/19・4/22) ・学生サポーター前期募集説明会(4/19)[福 岡市教育委員会] ・ボランティアの授業(4/25)[社会福祉学 科基礎演習]
5月		・「はるかのひまわり絆プロジェクト」種植え (5/9) ・朝倉ファムトリップ(5/10~5/11)【西 日本新聞】 ・うきはベース (5/19) ・うきはベース (5/26)		・チャリティーサンタ説明会(5/10)[NPO 法人チャリティーサンタ] ・久山康育園運動会ボランティア(5/10) ・学生ボランティア団体募集説明会(5/16) ・手話&ノートテイク講座1回目(5/22)[MCP] ・手話&ノートテイク講座2回目(5/29)[MCP]
6月	弁当容器回収 (被災地支援)	・うきはベース(6/1~6/2) ・うきはベース(6/9) ・うきはベース(6/15~6/16) ・2019 年度夏季ボランティア募集説明会 (6/20) ・うきはベース(6/23)	• NGO 合同説明会 In 西南学院大学 (6/5) 【(特活) NGO 福岡ネットワーク (FUNN)】	・学生スタッフ研修(6/8)【(株) ラーニン グパリュー】 ・手話&ノートテイク講座 3 回目(6/12) 【MOP】
7月	* hl/t ty y 7 回収 (90 f y ) 寄付本回収 (奨学基金)	・防災研修 (7/5) [福岡市]     ・うさはベース (7/6~7/7)     ・うさはベース (7/20~7/21) 中止     ・東日本大震災ボランティア事前研修会     【大学間連携】(7/23)     ・東日本大震災ボランティア事前研修会     【バブテスト連盟】(7/30)	・海外旅行保険と学生向け危機管理 セミナー (7/10) ※補助金対象者任意参加【大学国 際センター】	おりがとう講座 vol1 (7/9)【一般社団法人 笑い文字普及協会】
8月	古切手回収 ハガキ回収 文房具回収 (カバックラ支援) 災害支援金(被災地支援) 学生株・クー(学習支援他)	・ うきはベース (8/18~8/20) ・東北学院 亘理郡山元町 (8/18~8/22) ・熊本ボランティア 学習支援 (8/21) ・夏休みことも防災教室・西南学院大学 (8/23) 【UR 都市機構】 ・うきはベース (8/28~8/30) 中止 ・うきはベース (8/31)  ※うきはベースとは・・・ 被災地支援を促進させるための宿泊・情報 共有・情報発信のための拠点 ・ジャントの内容で活動予定 ・プロン活動を適した住民との交流 ・学者と大阪が別えした田畑の再生実験を通した 農業支援 ・学者で表現など。 ・学者で表現など。 ・グラビスを表現るというでは、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・海外ボランティア補助金対象プログラム 活動選所: インドネシア(8/7~8/27)[FIMC] 活動選所: 中国(8/9~9/2) [FIMC] 活動選所: 中国(8/9~9/2) [FIMC] 活動選所: フィリピン(8/12~8/31) [FIMC] 活動選所: フィリピン(8/12~8/31) [FIMC] 活動選所: インドネシア(8/22~9/6) [MCE] 活動選所: インドネシア(8/22~9/6) [MCE] 活動選所: オンボシア(8/22~9/6) [MCE] 活動運所: 市公下の当日(23~8/29)[ボラブラ] 活動運所: 中国(8/25~9/2) [FIMC] 活動運所: 中国(8/26~9/2) [FIMC] 活動運所: 中国(8/27~9/19) [MCE] 活動運所: かいボシア(8/28~9/3) [ボラブラ] 活動運用: カンボシア(8/30~9/2) [ボラブラ]	・オープンキャンバス相談員 (8/3~8/4) ・子どもたちとの交流イベント [卓球部] (8/10) [田殿公氏館] ・キリスト教を士台として『沖縄・長崎・広島から平和を考える学び合い』(8/19~8/22) 活動場所:沖縄・野芥枝区学習支援ボランティア (8/24) [福岡未来創造プラットフォーム]・ありがとう舞座 vol2 (8/29) [一般社団法人実い文字普及協会] ・「平和と共生の旅」(8/31~9/2) 活動場所:広島
9月		・熊本ボランティア 傾聴交流 (9/4) ・東日本大震災ボランティア (9/6 ~ 9/9) 【バブテスト連盟 活動場所: 宮城県 ・うきはベース (9/13 ~ 9/15) 学生企園	<ul> <li>海外ボランティア補助金対象プログラム活動場所:ネパール (9/2~9/15) [Think&amp;Act]</li> <li>活動場所:オストラリア(9/4~9/17) [GDE]</li> <li>活動場所:オーストラリア(9/4~9/17) [GDE]</li> <li>・第19期 NGOカレッシブレ講座「あなたのそばにある SDGs」(9/19)</li> <li>【(特活) NGO 福岡ネットワーク (FUNN)・SDGs 推進ネットワーク in 九州]</li> </ul>	<ul> <li>大学ボランティアセンター学生スタッフセミナー 2019 (9/2~9/3)</li> <li>ゆたかカレッシとの交流 (9/17)</li> <li>※ボランティアセンター学生スタッフ (OPEN)</li> <li>Q山療育園開園祭ボランティア (9/23)</li> <li>学生サボーター後期募集受付 (9/25~9/26) (福岡末東倉美会)</li> <li>野芥校区学習支援ボランティア (9/28) [福岡末来創造プラットフォーム]</li> </ul>

# 2019 年度ボランティアセンター活動記録(後期)

	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	被災地支援ボランティア	海外ボランティア	7 - 111
	通年	災害 • 防災	国際交流	その他
10月		・うきはベース(10/19 ~ 10/20)	<ul><li>第16回海外ボランティア・ワークキャンプ募集説明会(10/29)</li></ul>	<ul> <li>伊佐郎(国の登録有形文化財)イベント(10/20)※ボランティアセンター学生スタッフOPEN</li> <li>野芥校区学習支援ボランティア(10/26)[福岡未来創造プラットフォーム]</li> </ul>
11月		・神戸訪問震災学習プログラム (11/2〜11/4) [尚絅学院大学] ・みやぎ招へいプログラム (11/23〜11/24) [東北学院大学] ・クリスマスカードの送付 [東北] 第一弾 [被災地にクリスマスカードを届 けよう! プロジェクト]	<ul> <li>第19期NGOカレッジ講座 第1回 (11/9) 第19期NGOカレッジ講座 第2回 (11/16)</li> <li>第19期NGOカレッジ講座 第3回 (11/23)</li> <li>第19期NGOカレッジ講座 第4回 (11/23)</li> </ul>	<ul> <li>・ゆたかカレッジとの交流(11/2)※ボランティアセンター学生スタッフ OPEN</li> <li>・大学祭出店(11/14~11/17)※学生ボランティア団体</li> <li>・野芥校区学習支援ボランティア(11/23)[福岡未来創造プラットフォーム]</li> </ul>
	弁当容器回収 (被災地支援)			
12月	* トルトップ 回収 (99チン) 寄付本回収	・東日本大震災ボランティア報告 (12/8) 報告遺所:長住パフテスト教会 ※ (パプテスト連盟) ・クリスマスカードの送付 [杷木小学校・ 被災地の小学校] 第2弾 [被災地にクリスマスカードを届 けよう!プロシェクト] ・2019 年度大学間連携災害ボランティア	・青年海外協力隊体験説明会 (12/12) [JICA] ・海外ボランティア・ワークキャン ブ事前研修 第1回 (12/18)	・学生ボランティアミーティング(12/7) 【福岡市NPO・ボランティア交流センター 「あすみ」】 ※ボランティアセンター学生スタッフ OPEN ・学生スタッフ研修(12/21) ・野芥校区学習支援ボランティア(12/21) 【福岡未来創造プラットフォーム】
12/3	(奨学基金) 古切手回収 ハガキ回収	シンボジウム (12/14) 【東北学院大学】		
1月	文房具回収 (カ)ボジア支援) 災害支援金 (被災地支援) 学生サボーター (学習支援他)	- 2019 年度 西南学院大学 ボランティア &平和研修報告会 (1/16)     - うきはベース (1/19)	・海外ボランティア・ワークキャン ブ事前研修 第2回 (1/8) ・海外旅行候後と学生向け危機管理 セミナー (1/15) ※補助金対象者任意参加 【大学国 勝センター】 ・第19 期 NGO カレッシ講座 第5回 (1/25) ・海外ボランティア・ワークキャン ブ事前研修 第3回 (1/29)	大野城市社会福祉協議会「視察研修」受入 (1/7)
2月		・うきはベース(2/1~2/2) ・うきはベース(2/16~2/18)学生企画	・海外ボランティア・ワークキャンプ 事前研修 第4回(2/19) ・海外ボランティア・ワークキャンブ in フィリピン(2/21 ~3/2)	・久山康育園チャリティーコンサート (2/1) ・学生ボランティア団体支援表彰式 [西南 FWC 九州] (2/14) ・野芥校区学習支援ボランティア (2/22) [福岡未来創造ブラットフォーム] ・西南学院 中村哲先生 追悼の集い (2/24)
3月		・うきはベース (3/7~3/8) 中止 ・うきはベース (3/14~3/15) 中止	・ベイラー大学学生との交流ポラン ティア活動(3/11 ~ 3/14)中止	・新聞社三紙合同企画 [朝日新聞社×日本経済新聞社×読売新聞社]     ・(発行物)     2020年度ボランティアガイドブック
$\overline{}$				

### 2020年度 学院聖句

喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。

ローマの信徒への手紙 12章 15節 (新共同訳)

### **炒** 西南学院大学 ボランティアガイドブック

2020年4月 発 行/西南学院総務部

キリスト教活動支援課 ボランティアセンター事務室 福岡市早良区西新6丁目2-92 TEL 092-823-3662 FAX 092-823-3335 E-mail: swvoc@seinan-gu.ac.jp

URL:http://www.seinan-gu.ac.jp/volunteer/

集/西南学院総務部 キリスト教活動支援課 ボランティアセンター事務室 刷/株式会社 キャンパスサポート西南 SRプリンティングセンター